

第7回
京都流議定書
報告書

× 生まれる価値、育む価値、生きる価値

2014 / 07 / 18FRI, 19SAT, 20SUN in KYOCA Food Laboratory

京都流議定書とは、日本の縮図ともいえる京都を研究し、その資産を分析し、強みを再認識することを目的としたイベントです。今年の京都流議定書は、京都青果合同という既存の青果物流通の雄と、若い力が絡み合う場として生まれた KYOCA Food Laboratory で、新たな可能性を考えて参ります。

第7回目となる今年のテーマは「×～生まれる価値、育む価値、生きる価値～」でした。上から決められたものや計算されたもの、白か黒どちらかのトレードオフの関係では解決できない時代です。縦、横だけではなく斜めの繋がり、偶発的な出会いから生まれる価値、内省と対話で考える組織について3日間、開催いたしました。

7.18 fri
KYOCAから広がる価値

鼎談 これからの地域の在り方、課題解決

京都流議定書 イベント実行委員長 岡村 充泰氏

京都市長 門川 大作氏

京都支社長 執行役員 近畿統括本部 蔵原 潮氏

西日本旅客鉄道株式会社 代表取締役 西川 敬一氏

Issue+design 代表 博士(工学) 箕谷 介氏

KYOCAで2015年春に開校される、地域の課題解決人材を育てる「地域みらい大学」その代表を務める箕氏と、2016年春に京都・梅小路エリアに開設される「鉄道博物館」の西日本 JR 京都支社長蔵原氏と京都市長門川氏を迎え、「これからの地域の在り方、課題解決」についてお話いただきました。3名の京都の町づくりへの想いや、地域と女性の働き方について、充電的な雇用ではなく、京都の豊かな資源を活かす働き方についてお話されました。

講演 これからの地域価値創造 KYOCAを通して

COOL JAPANについて

世界の課題を解決する日本

太刀川 英輔氏

KYOCAのブランディングデザインをしてくださった太刀川氏。「デザインと地域が関わると何が起るのか？」というお話から、現在、コンセプトディレクターを務める経済産業省のCOOLJAPANについて自然災害や少子高齢化など「課題先進国日本」ならではの課題解決能力が今後、世界で重要になってくることについてお話いただきました。

パネルディスカッション 地域×企業×こころ

京都府立大学公共政策学部 講師 地域連携センター副センター長 杉岡 秀紀氏

京都大学こころの未来研究センター 准教授 内田 由紀子氏

京都産業大学経営学部 シンシヤル・マネジメント学科 准教授 大室 悦賀氏

ZOZO法人代表理事 西村 勇哉氏

地域、企業、こころの3名の研究者にご登壇いただきました。生き方と働き方が合致する会社についてお話され、「既存の枠組みを解放し、学生、企業、地域の可能性を引き出す。」という想いから発足されたプロジェクト「リリース」の紹介をされました。リリースは、あたらしい経済を牽引する企業や自治体、組織とこれらを担う若者が共に未来をデザインし、求められる役割を見つけながら世間に問いかけ、あたらしい時代に先駆けたビジネスアイデアを練り上げ、カタチにするためのアクティブ・ラーニング・プログラムです。
<http://www.till-release.net/>

mamatoko ichiba & KYOCA 内覧会 同時開催いたしました！
ママとこどもが笑顔になる食のテーマパーク、mamatokoichiba。体験コーナーや販売があり、親子連れで賑わいました！

食の本屋さん

京都の食材

京都南丹市マルシェ

京佃煮

キッズコーナー

採れたて野菜

7.19 sat
人が輝く組織、経営、地域

ワールドカフェ 人が輝く組織、人が育つ組織

株式会社ブックス 代表取締役 西川 敬一氏

ドキュメンタリー映像「DO IT!」視聴

ワールド・カフェ

働く喜びと意欲を高めるドキュメンタリー映像で、働く人を元気にするブックス代表取締役 西川氏にご登壇いただきました。「自ら考え、自ら行動する。主体的に働くことはなぜ必要か？そんな社員が育つ環境はどんな環境か？社員の主体性はどうすれば育てられるのか？」をテーマにネットヨタ南国様・未来工業様の映像を視聴し、様々な業種と役職の参加者がグループになり、話し合いました。人が輝く時は、自ら（主体的に）楽しんでる時。人が育つ時は、自らの考えを持ちながら他人を認める時。あたたかく見守る、支える、失敗できる環境づくりから主体的に動ける社員が育つ。聞くこと、話すことを意識的にを行い、心に残った事は文字にしてみることが大切。ワールドカフェの様子はイキイキと働く会社の雰囲気に近いものを感じました。

京都フォーラム『人が輝く経営』 素晴らしき経営研究会 主催

講演 奇跡の職場～新幹線清掃チームの働く誇り～

株式会社JR東日本 テクノハイパーTEESSEI 代表取締役 矢部 輝夫氏

人と経営研究所 所長 大久保 寛司氏

株式会社安城自動車学校 代表取締役 石原 慧子氏

矢部 輝夫氏

石原 慧子氏

車内清掃を「するだけの会社」から「おもてなし創造会社」への道のりはまるでハイブリッドの法則。1を目指すためには300の事にチャレンジし、やってみて良かったことを積み重ねてゆく。教育は成功体験の共有！作業（マニュアル）を伝えるのではなく、おもてなしの心―基盤となるものを伝えること。一人一人が思い（誇り）を持って行動し、「当たり前」の事を「当たり前」にできることを「普通である」とせず、頑張る人を表彰する、頑張る人に気付いた人を表彰することで共有できる。

トップにユーモアがあると、遊び心があり、社内がイキイキする。単なる掃除だと思われ会社を去る人もいるが、残る人を大切にすることが大事。採用基準はチームワークに向いているかどうか、目指す方向が同じ。「トップがやるべき1番大切なことは？」という会場からの質問に対し、石原氏「すべての人に愛をもって接する。大切な人を大切に、大切な人の大切な人も大切に。」矢部氏「社員・スタッフを幸せにしたいと思う気持ちが大切。」と話す。

7.20 sun
あたらしいフード会議 in KYOCA

トーク あたらしい食育

四ノ宮の代表 クリエイティブ・ディレクター 桜井 肖典氏

カライズジャパン株式会社 代表取締役 西村 和代氏

料理教室主宰 福本 理恵氏

NPO法人Food Designers 代表理事 フードデザイナー 中山 晴奈氏

色をみるワークショップ

新鮮な野菜たち

野菜の色を合わせる

様々な職種、地域、見方から、食の新しい動きを生み出しているゲストを囲んで、あたらしい食のアイデアを温めて行動に移すための連続トークセッション「あたらしいフード会議」。今回のテーマである「食育」に関しては、「食育とは本来、暮らしの中で自然に学ぶこと。健全な食生活を実践することができる人間を育てる「食育」を考える世の中よりも、そういった言葉がない良い世の中にしていきたい。」と白熱した議論が行われました。また、野菜や果物をつかった色を見るワークショップも行いました。

【主催】京都流議定書イベント実行委員会 【共催】京都市 【協賛】株式会社ウエダ本社
【後援】京都府・京都市教育委員会・(公社)京都府観光連盟・京都商工会議所・(一社)京都経済同友会・素晴らしき経営研究会・(公財)京都産業21・(公財)京都高度技術研究所・京都新聞・KBS 京都・エフエム京都・NPO京都コミュニティ放送・京都銀行・京都信用金庫・京都リサーチパーク(株)・京のアジェンダ21フォーラム・京都グリーン購入ネットワーク(株)ブックス(順不同)

京都流議定書：<http://kyotostyle.jp> お問い合わせ：京都流議定書実行委員会 (075-341-4111)